

AireOSワイヤレスLANコントローラ(WLC)のアップグレードプロセス

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[サポート対象プラットフォーム](#)

[WLCのソフトウェアアップグレード手順](#)

[GUIを使用したアップグレード手順](#)

[CLIを使用したアップグレード手順](#)

[Cisco Prime Infrastructureを使用したWLCのアップグレード](#)

[HA AP-SSO環境でのWLCのアップグレード](#)

[ワイヤレスLANコントローラ\(WLC\)でのプライマリイメージまたはセカンダリイメージの削除](#)

[確認](#)

[デバッグオプション](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ワイヤレスLANコントローラ(WLC)でソフトウェアをアップグレードするための手順と要件について説明します。

具体的なリリースごとの正確なアップグレードパス、ダウンロード情報、およびアップグレード手順に関する情報については、『[WLCソフトウェアリリースノート](#)』を参照してください。

たとえば、リリース8.10.171.0に移行する場合は、『[Ciscoワイヤレスリリース8.10.171.0におけるCiscoワイヤレスコントローラとLightweightアクセスポイントのリリースノート](#)』の「Ciscoワイヤレスリリースのアップグレード」セクションを参照してください。

前提条件

要件

ネットワークに関する基本的な知識、およびCiscoワイヤレスLANコントローラの基本設定とインストールに関する知識に加えて、リリースノートに記載されているガイドラインと推奨事項をお読みください。たとえば、バージョン 8.10.171.0 の場合は、[ここ](#)を参照してください。

サポートされるCiscoワイヤレスリリース8.10.xへのアップグレードパス：

現在のソフトウェア リリース

リリース8.10.xへのアップグレードパス

8.5.x
8.8.x
8.10.x

リリース8.10.xに直接アップグレードできます。
リリース8.10.xに直接アップグレードできます
リリース8.10.xに直接アップグレードできます

WLCを最新の推奨リリースに更新することを強く推奨します。現在の推奨リリースは、次の場所
で確認できます。[推奨される AireOS ワイヤレス LAN コントローラのリリース](#)。

このプロセスでは、コントローラやアクセスポイントの電源をオフにしないでください。そうし
ないと、ソフトウェアイメージが破損する可能性があります。多数のアクセスポイントがあるコ
ントローラのアップグレードには、30分ほどかかる場合があります（ネットワークのサイズによ
って異なります）。ただし、コントローラのソフトウェアリリースでサポートされるアクセスポ
イントの同時アップグレードの数が増えると、アップグレード時間が大幅に短縮されます。ア
クセスポイントの電源は入れたままにする必要があります。また、この時点ではコントローラをリ
セットしないでください。

次のオプションを使用すると、ネットワークのダウンタイムを短縮できます。

1. APイメージは事前にダウンロードできます。この機能により、ネットワークが接続されて
いる間に、アップグレードイメージをコントローラにダウンロードし、このイメージをア
クセスポイントにダウンロードします。新しい CLI では、コントローラをリセットする際
に、両方のデバイス用のブートイメージを指定し、アクセスポイントをリセットするこ
とができます。

この機能用に WLC と LAP を設定する方法の詳細は、『[Cisco ワイヤレス LAN コントローラ
コンフィギュレーションガイド、リリース 8.10](#)』の「[アクセスポイントへのイメージの
プレダウンロード](#)」セクションを参照してください。

2. FlexConnect アクセスポイントの場合は、FlexConnect Efficient AP Upgrade 機能を使用し
て、コントローラと AP（メインサイトとブランチ）間のトラフィックを削減することがで
きます。FlexConnect APアップグレードの設定の詳細については、『[Cisco ワイヤレス
LAN コントローラコンフィギュレーションガイド、リリース 8.10](#)』の「[FlexConnect AP の
FlexConnect APアップグレードの設定](#)」の章を参照してください。

アップグレードしようとしている新しいバージョンが AP でサポートされていることを確認します。
互換性マトリクス

<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/compatibility/matrix/compatibility-matrix.html>を参照
してください。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- アップグレードファイルが保存されている FTP サーバ
- HTTP 経由でファイルを転送するために WLC に HTTP/S アクセスできる PC
- ソフトウェアリリース 8.10.171.0 にアップグレードする 8.5.182.0 を実行する Cisco 3504 WLC

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド
キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています
。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してく
ださい。

サポート対象プラットフォーム

このドキュメントは、下記のハードウェア プラットフォームにも適用可能です。

- Cisco 5520/8540 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ
- Cisco 3504 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ
- Cisco Virtual Wireless Controller (vWLC)

注：アップグレード中にAPが失われるのを防ぐため、APがアップグレードするソフトウェアと互換性があることを確認します。互換性マトリックスを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/compatibility/matrix/compatibility-matrix.html>。

WLC のソフトウェア アップグレード手順

CLI または GUI を使用して、Cisco WLC をアップグレードすることができます。

注：アップグレードを実行する前に、ワイヤレス LAN コントローラ上のコンフィギュレーションをバックアップしておくことが強く推奨されます。

GUI を使用したアップグレード手順

このセクションでは、コントローラの GUI を使用して WLC をアップグレードする方法を説明しています。

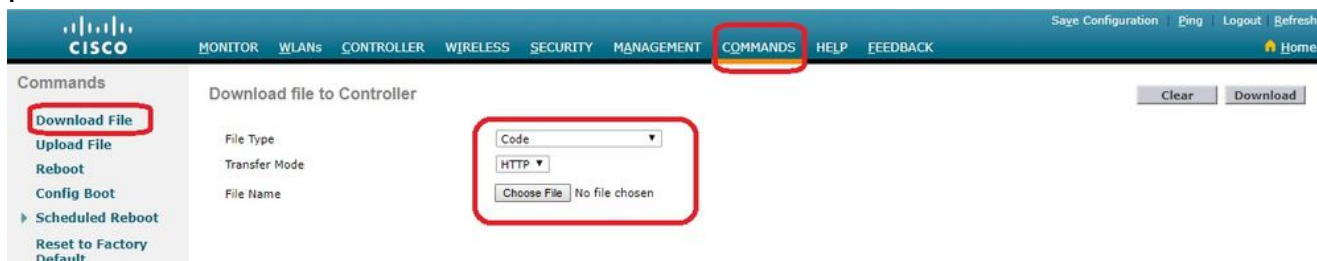
GUIを使用してWLCをアップグレードすると、コントローラがリブートする時間内にレイヤ3(IP)接続が失われます。このため、アップグレードプロセスでコントローラの状態を確認し、必要に応じて回復手順を迅速に実行するために、コンソールポート接続を使用することをお勧めします。

手順は以下のとおりです。

1. コントローラの設定ファイルをサーバにアップロードして設定ファイルをバックアップします。
2. コントローラソフトウェアを入手するには：次のURLでソフトウェアダウンロードポータルを参照します。<https://software.cisco.com/download/home> コントローラ モデルを検索します。Downloads Home > Wireless > Wireless LAN Controller > Standalone Controllers 使用しているWLCモデルをクリックし、[Wireless LAN Controller Software] をクリックしますソフトウェア リリースには、ダウンロードするリリースを判断する際に役立つように、次のようなラベルが付いています。コントローラ ソフトウェア リリース番号をクリックします。早期展開 (ED)：このソフトウェア リリースには、バグ修正ファイルだけでなく、新機能および新しいハードウェア プラットフォーム サポートが付属しています。Maintenance Deployment(MD)：これらのソフトウェアリリースは、バグ修正と継続的なソフトウェアメンテナンスを提供します。保留 (DF)：これらは延期されたソフトウェア リリースです。アップグレードされたリリースに移行することを推奨します。ファイル名 <filename.aes>[Download] をクリックしますシスコのエンドユーザソフトウェアライセンス契約を読み、[Agree (同意する)] をクリックします。ファイルをハードドライブに保存します
3. TFTP、FTP、またはSFTPサーバのデフォルトディレクトリにコントローラソフトウェアファイル<filename.aes>をコピーします
4. (オプション) コントローラ802.11ネットワークを無効にします。注：使用率の高いネットワークやコントローラ、または小規模なコントローラ プラットフォームでは、予防措置

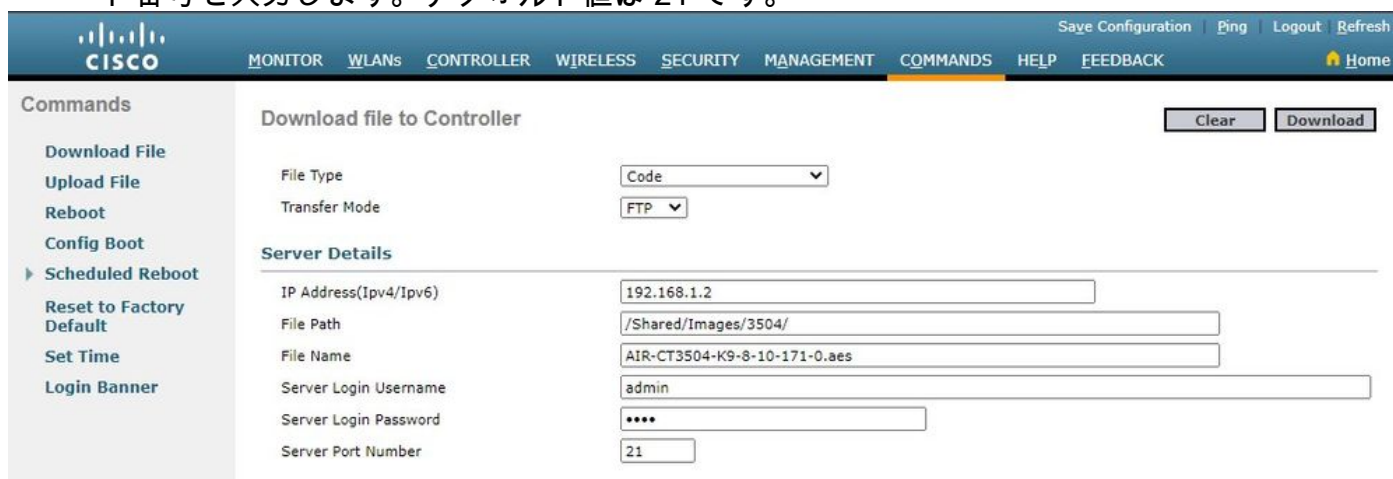
として 802.11 ネットワークを無効にすることをお勧めします。

5. **Commands > Download File**の順に選択して、**Download File to Controller**ページを開きます
6. [File Type] ドロップダウンリストから、[Code] を選択します
7. [Transfer Mode] ドロップダウンリストから、[TFTP]、[FTP]、[SFTP]、または[HTTP] を選択します **HTTP**を選択すると、ファイルの場所の入力を求められます。WLCのGUIにアクセスするPCからファイルを使用できるようにする必要があります。[HTTP] を選択した場合は、ステップ 13 に進みます。



コントローラへのファイルのダウンロード

8. **TFTP、FTP、またはSFTP**サーバを選択する場合は、TFTP、FTP、またはSFTPサーバの**IPアドレス**を入力します
9. TFTPサーバを使用している場合は、**Maximum Retries**フィールドのデフォルト値である10回の再試行、および**Timeout**フィールドの6秒の再試行が、調整なしで正常に動作します。ただし、必要に応じてこれらの値は変更できます。値を変更するには、TFTPサーバがソフトウェアのダウンロードを試行する最大回数を [最大試行回数 (Maximum Retries)] フィールドに、ソフトウェアのダウンロードを試行する時間の合計 (秒単位) を [タイムアウト (Timeout)] フィールドに入力します。
10. [File Path] フィールドに、ソフトウェアのディレクトリパスを入力します
11. [File Name] フィールドに、ソフトウェアファイル<filename.aes>の名前を入力します
12. FTPサーバを使用する場合は、次の手順を実行します。 [Server Login Username] フィールドに、FTPサーバへのログインに使用するユーザ名を入力します[Server Login Password] フィールドに、FTPサーバへのログインに使用するパスワードを入力します[サーバポート番号 (Server Port Number)] フィールドに、FTPサーバ上のダウンロードが行われるポート番号を入力します。デフォルト値は 21 です。



FTP転送設定

13. [Download] をクリックして、ソフトウェアをコントローラにダウンロードします。ダウンロードのステータスを示すメッセージが表示されます。
- 14.ダウンロードが完了したら、 **Reboot**
- 15.変更を保存するように求められたら、 **保存して再起動**

16. [OK] をクリックして、コントローラのリブートの決定を確定します
17. 802.11ネットワークをディセーブルにした場合は、再度イネーブルにします
18. (オプション) コントローラにコントローラソフトウェアがインストールされていることを確認するには、コントローラのGUIで[Monitor] をクリックし、[Controller Summary] の下の [Software Version] フィールドを表示します

CLI を使用したアップグレード手順

このセクションでは、FTPサーバのファイルを使用してコントローラのCLIを使用してWLCをアップグレードするための情報を提供します。

次のステップを実行します。

1. コントローラから FTP サーバに到達可能であることを確認して、アップグレード ファイルが FTP サーバのディレクトリにあることを確認します。
2. この手順はコンソールポートを介して実行するのが最適ですが、WLC管理IPアドレスにSSHまたはTelnet (有効な場合) で接続して手順を実行することもできます。SSHまたはTelnetを使用すると、イメージのダウンロード後のリブートプロセスでコントローラとの接続が失われます。したがって、アップグレードが失敗した場合にコントローラのトラブルシューティングと回復を迅速に行うために、コンソールアクセスを使用できます。コントローラで稼働している現行のソフトウェアを確認するために、コントローラにログインして、**show sysinfo** コマンドを発行します。次に、コントローラで8.5.182.0が稼働していることを示す**show sysinfo**コマンドの出力例を示します。

```
(c3504-01) >show sysinfo
```

```
Manufacturer's Name..... Cisco Systems Inc.  
Product Name..... Cisco Controller  
Product Version..... 8.5.182.0  
RTOS Version..... 8.5.182.0  
Bootloader Version..... 8.5.103.0  
Emergency Image Version..... 8.5.103.0
```

3. 次の手順を実行して、ダウンロード パラメータを定義します。ファイル転送のモードを定義するには、**transfer download mode ftp**コマンドを発行します**transfer download username/password**コマンドを発行して、FTPサーバにアクセスするためのユーザ名とパスワードを定義します**transfer download serverip FTP_server_IP_address** コマンドを発行して、FTPサーバのIPアドレスを定義します**transfer download path 'FTP_server_path'**コマンドを発行して、コントローラのOSソフトウェアがあるFTPデフォルトディレクトリのパスを定義します**transfer download filename**コマンドを発行して、イメージの名前を指定します以下が一例です。

```
(c3504-01) >transfer download datatype code  
(c3504-01) >transfer download mode ftp  
(c3504-01) >transfer download username admin  
(c3504-01) >transfer download password *****  
(c3504-01) >transfer download serverip 192.168.1.2  
(c3504-01) >transfer download path /Shared/AIR-CT3504/  
(c3504-01) >transfer download filename AIR-CT3504-K9-8-10-171-0.aes
```

4. **transfer download start** コマンドを発行して、アップグレード プロセスを開始します。アップグレード プロセスの例を次に示します。

```
(c3504-01) >show boot  
Primary Boot Image..... 8.5.182.0 (default) (active)  
Backup Boot Image..... 8.10.162.0
```

```
(c3504-01) >transfer download start
```

```
Mode..... FTP
Data Type..... Code
FTP Server IP..... 192.168.1.2
FTP Server Port..... 21
FTP Path..... /Shared/Images/3504/
FTP Filename..... AIR-CT3504-K9-8-10-171-0.aes
FTP Username..... admin
FTP Password..... *****
```

This may take some time.

Are you sure you want to start? (y/N) y

FTP Code transfer starting.

FTP receive complete... extracting components.

Checking Version Built.

Image version check passed.

Executing Product Check TLV.

Executing init script.

Executing backup script.

Writing new RTOS to flash disk.

Executing install_rtos script.

Writing new Kernel-args to flash disk.

Writing new FP to flash disk.

Writing new AP Image Bundle to flash disk.

Writing AVC Files to flash disk.

Executing fini script.

Reading AP IMAGE version info.

File transfer is successful.

Reboot the controller for update to complete.

Optionally, pre-download the image to APs before rebooting to reduce network downtime.

```
(c3504-01) >show boot
```

```
Primary Boot Image..... 8.10.171.0 (default)
Backup Boot Image..... 8.5.182.0 (active)
```

- アップグレードプロセスが完了したらコントローラをリブートして、新しいコードを有効にします。
- reset system**コマンドを発行し、「Would you like to save them now?」という質問に対して **y**または**yes**と入力します。

```
(Cisco Controller) >reset system
```

The system has unsaved changes.

Would you like to save them now? (y/N) y

Read from Flash Completed ...

Updating HBL license statistics file
Done.

Configuration Saved!
System will now restart!
Updating license storage ... Done.

Exiting SL process !
There was change in the boot image, System will go for a reboot
Cannot Cancel the WDT. Not petting the WDT.
Collect the core using oct utility
Rebooting the system..
[74411.034881] reboot: Restarting system

Cisco bootloader . . .

Cisco BootLoader Version : 8.5.103.0 (Cisco build) (Build time: Jul 25 2017 - 07:47:10)

Octeon unique ID: 03c000610221f31e0057
OCTEON CN7240-AAP pass 1.3, Core clock: 1500 MHz, IO clock: 800 MHz, DDR clock: 1067 MHz
(2134 Mhz DDR)
DRAM: 8 GiB
Clearing DRAM..... done
CPLD Revision : a5
Reset Reason : Soft reset due to RST_SOFT_RST write
SF: Detected S25FL064A with page size 256 Bytes, erase size 64 KiB, total 8 MiB
MMC: Octeon MMC/SD0: 0 (Type: MMC, Version: MMC v5.1, Manufacturer ID: 0x15, Vendor: Man
150100 Snr 0707a546, Product: BJNB4R, Revision: 0.7)
Net: octmgmt0, octmgmt1, octeth0, octeth1, octeth2, octeth3, octeth4, octeth5, octeth6
SF: Detected S25FL064A with page size 256 Bytes, erase size 64 KiB, total 8 MiB

Press <ESC> now to access the Boot Menu...

Loading backup image (8.8.111.0)
94767283 bytes read in 2229 ms (40.5 MiB/s)
Launching...
Verifying images... OK
Launching images...

[...]

XML config selected
Validating XML configuration
octeon_device_init: found 1 DPs
Cisco is a trademark of Cisco Systems, Inc.
Software Copyright Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco AireOS Version 8.8.111.0
Initializing OS Services: ok
Initializing Serial Services: ok
Initializing Network Services: ok
[...]

コントローラのコードをダウングレードする際には、コンフィギュレーションは保存されません。コントローラは各リリース間でのアップグレードが可能です。あるリリースから別のリリース

へのダウングレードが必要な場合は、より高いリリースの設定を使用できない可能性があります。この回避策は、バックアップ サーバに保存されている以前のコントローラ コンフィギュレーション ファイルをリロードするか、あるいはコントローラの再設定になります。

Cisco Prime Infrastructureを使用したWLCのアップグレード

デバイスを最新のソフトウェアバージョンに手動でアップグレードすると、エラーが発生しやすく、時間を浪費する可能性があります。Cisco Prime Infrastructure(PI)は、ソフトウェアイメージのアップデートの計画、スケジュール、ダウンロード、および監視を行うことで、デバイスに対するソフトウェアアップデートのバージョン管理とルーチン導入を簡素化します。また、ソフトウェア イメージの詳細や推奨ソフトウェア イメージを表示したり、ソフトウェア イメージを削除したりすることが可能です。ソフトウェアイメージ管理ページには、ソフトウェアイメージ管理ライフサイクルウィジェット、ソフトウェアイメージの概要、ジョブの詳細など、イメージ管理のさまざまな側面が統合されたビューで表示されます。

Prime Infrastructure は、ネットワーク上のデバイスのソフトウェア イメージをすべて保存しています。画像は、画像の種類とバージョンに応じて記憶される。

詳細とガイドラインについては、『Cisco PIユーザガイド』の「[デバイスソフトウェアイメージの管理](#)」の章を参照してください。

HA AP-SSO環境でのWLCのアップグレード

このセクションでは、いくつかのソフトウェアアップグレードシナリオのリストを示します。

- アクティブコントローラでソフトウェアをアップグレードすると、スタンバイホットコントローラのアップグレードが確実に行われます
- インサーブスアップグレードはサポートされていないため、HA環境のコントローラをアップグレードする前に、ネットワークのダウンタイムを計画することをお勧めします
- ソフトウェアのアップグレード後にアクティブコントローラをリブートすると、スタンバイホットコントローラもリブートされます
- **config boot backup**コマンドを実行する前に、アクティブコントローラとスタンバイホットコントローラの両方でバックアップ内に同じソフトウェアイメージを使用することをお勧めします。バックアップ内のアクティブコントローラとスタンバイホットコントローラの両方に異なるソフトウェアイメージがある場合に、アクティブコントローラで**config boot backup**コマンドを実行すると、両方のコントローラがそれぞれのバックアップイメージを使用してリブートし、ソフトウェアの不一致によりHAペアが切断されます。
- スケジュール リセットが HA 環境の両方のコントローラに適用されます。ピアコントローラは、アクティブコントローラでスケジュールされた時間が経過する1分前にリブートします
- スケジュールされたリセットが計画されていない場合は、**set peer-system**コマンドを使用して、アクティブコントローラからスタンバイホットコントローラをリブートできます。このコマンドでスタンバイホットコントローラだけをリセットすると、スタンバイホットコントローラ上の保存されていない設定はすべて失われます。そのため、スタンバイホットコントローラをリセットする前に、アクティブ コントローラ上で設定を保存する必要があります。
- イメージの転送時にSSOがトリガーされると、プレイメージのダウンロードが再開されます
- スタンバイホットコントローラで使用できるのはdebugandshowコマンドだけです

HA AP-SSOセットアップでWLCをアップグレードする詳細な手順については、『[ハイアベイラビリティ\(SSO\)導入ガイド](#)』ドキュメントの手順に従ってください。

ワイヤレス LAN コントローラ (WLC) でのプライマリ イメージまたはセカンダリ イメージの削除

WLC では、デフォルトで 2 つのイメージが維持されています。プライマリ イメージとバックアップ イメージがこの 2 つのイメージです。プライマリ イメージは WLC で使用されるアクティブなイメージで、バックアップ イメージはアクティブなイメージに対するバックアップとして使用されます。

WLC を新しいイメージでアップグレードする際に、WLC によりバックアップ イメージに新しいイメージが自動的にコピーされます。

使用しているコントローラで現在稼働しているアクティブなイメージ (プライマリ イメージ) を確認するには、WLC の GUI で [モニタ (Monitor)] をクリックして、WLC の GUI の [コントローラの概要 (Controller Summary)] にある [ソフトウェアバージョン (Software Version)] フィールドを調べます。CLI から、**show boot** コマンドを使用して、WLC 上にあるプライマリとバックアップのイメージを表示できます。以下が一例です。

```
(c3504-01) >show boot
Primary Boot Image..... 8.5.182.0 (default) (active)
Backup Boot Image..... 8.10.162.0
```

WLC でイメージの削除や上書きを行うには、保存しておくイメージで WLC をブートアップして、アップグレードを実行します。この方法では、新しいイメージによりバックアップ イメージが置き換えられます。

config boot <primary/backup> コマンドを使用して、WLC のアクティブブートイメージを手動で変更することもできます。

```
(Cisco Controller) >config boot ?

primary      Sets the primary image as active.
backup       Sets the backup image as active.
```

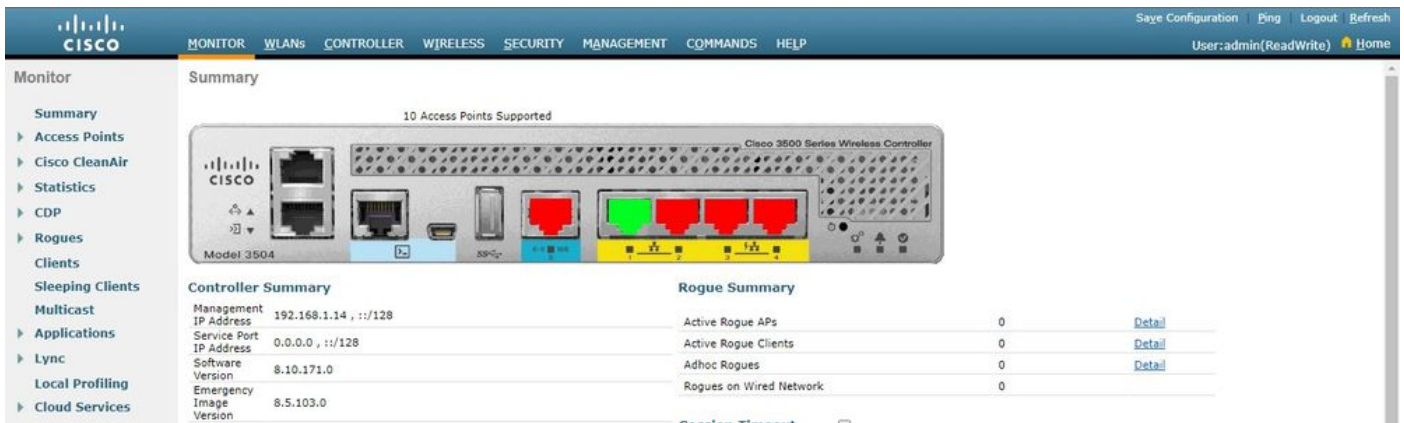
config boot イメージは、WLC GUI で設定することもできます。詳細な手順については、[『ワイヤレス LAN コントローラ \(WLC \) でのバックアップ イメージの使用法』を参照してください](#)

注：WLC で新しいアクティブなイメージを使用するには、WLC のコンフィギュレーションを保存してリポートする必要があります。

確認

インストールされている WLC ソフトウェアのバージョンを確認するには、システムのリポート後にコントローラにログインします。

GUI で次の手順を実行します。



WLCバージョンの確認

アップグレード後、CLI から次のコマンドを実行します。

```
(c3504-01) >show sysinfo
```

```
Manufacturer's Name..... Cisco Systems Inc.
Product Name..... Cisco Controller
Product Version..... 8.10.171.0
RTOS Version..... 8.10.171.0
Bootloader Version..... 8.5.103.0
Emergency Image Version..... 8.5.103.0
```

デバッグオプション

debug transfer all enableコマンドを使用すると、コントローラソフトウェアのアップグレードプロセスで発生するイベントを表示できます。次に、ソフトウェアアップグレードが成功した場合に使用される**debug**コマンドの出力例を示します。

```
(Cisco Controller) >debug transfer all enable
(Cisco Controller) >transfer download start
```

```
Mode..... FTP
Data Type..... Code
FTP Server IP..... 192.168.1.2
FTP Server Port..... 21
FTP Path..... /Shared/AIR-CT3504/
FTP Filename..... AIR-CT3504-K9-8-8-111-0.aes
FTP Username..... admin
FTP Password..... *****
```

This may take some time.

Are you sure you want to start? (y/N) y

```
*TransferTask: Mar 06 14:56:49.928: Memory overcommit policy changed from 0 to 1
```

```
*TransferTask: Mar 06 14:56:49.928: Delete ramdisk for ap bundle
```

```
*TransferTask: Mar 06 14:56:49.939: RESULT_STRING: FTP Code transfer starting.
```

```
*TransferTask: Mar 06 14:56:49.939: RESULT_CODE:1
```

FTP Code transfer starting.

```
*TransferTask: Mar 06 14:58:52.024: ftp operation returns error code:0 error:Transfer Successful
```

```
*TransferTask: Mar 06 14:58:52.034: tftp = 6, file_name=/Shared/AIR-CT3504/AIR-CT3504-K9-8-8-111-0.aes, ip_address=192.168.1.2, msg=Transfer Successful
```

*TransferTask: Mar 06 14:58:52.034: upd_get_code = 6 (target=268435457 msg=Transfer Successful)

*TransferTask: Mar 06 14:58:52.034: RESULT_STRING: FTP receive complete... extracting components.

*TransferTask: Mar 06 14:58:52.034: RESULT_CODE:6

FTP receive complete... extracting components.

*TransferTask: Mar 06 14:59:07.442: RESULT_STRING: Checking Version Built.

Checking Version Built.

*TransferTask: Mar 06 14:59:09.442: RESULT_STRING: Image version check passed.

Image version check passed.

*TransferTask: Mar 06 14:59:12.443: RESULT_STRING: Executing Product Check TLV.

*TransferTask: Mar 06 14:59:12.444: RESULT_STRING: Executing Version Built TLV.

*TransferTask: Mar 06 14:59:12.444: RESULT_STRING: Executing init script.

*TransferTask: Mar 06 14:59:12.457: RESULT_STRING: Executing backup script.

*TransferTask: Mar 06 14:59:13.508: RESULT_STRING: Writing new RTOS to flash disk.

Writing new RTOS to flash disk.

*TransferTask: Mar 06 14:59:20.810: RESULT_STRING: Executing install_rtos script.

Executing install_rtos script.

*TransferTask: Mar 06 14:59:24.878: RESULT_STRING: Writing new Kernel-args to flash disk.

*TransferTask: Mar 06 14:59:24.892: RESULT_STRING: Writing new FP to flash disk.

*TransferTask: Mar 06 14:59:25.451: RESULT_STRING: Writing new AP Image Bundle to flash disk.

Writing new AP Image Bundle to flash disk.

*TransferTask: Mar 06 14:59:44.044: RESULT_STRING: Writing AVC Files to flash disk.

Writing AVC Files to flash disk.

*TransferTask: Mar 06 14:59:44.703: RESULT_STRING: Executing fini script.

Executing fini script.

*TransferTask: Mar 06 14:59:52.860: RESULT_STRING: Reading AP IMAGE version info.

*TransferTask: Mar 06 14:59:52.865: RESULT_CODE:11

*TransferTask: Mar 06 14:59:52.865: RESULT_STRING: File transfer is successful.

Reboot the controller for update to complete.

Optionally, pre-download the image to APs before rebooting to reduce network downtime.

File transfer is successful.

Reboot the controller for update to complete.

Optionally, pre-download the image to APs before rebooting to reduce network downtime.

*TransferTask: Mar 06 14:59:58.871: Create ramdisk for ap bundle

(Cisco Controller) >

トラブルシューティング

このセクションを使用して、ソフトウェア アップグレードのトラブルシューティングを行います。

アップグレードプロセスで、エラーが発生する場合があります。このセクションでは一般的なエラーをいくつか説明しながら、典型的な原因、および WLC のソフトウェア アップグレードを完了するために取り得る修正対策を紹介しています。

- "% Error:Code file transfer failed - Couldn't connect to the server" : このエラー メッセージが表示されるのは、サーバに到達できない場合です。WLCからサーバへのIP接続をチェックし、TFTP/FTP/SCPトラフィックがネットワークのどのファイアウォールによってもブロックされていないことを確認します。また、TFTP/FTP/SCPサービスがサーバーで有効になっているか、または実行されているかどうかを確認します。場合によっては、サーバーアプリケーションを実行するコンピューターでファイアウォールが有効になっている可能性があります。これが、WLC のアップグレードが期待どおりに行われなかった原因である可能性があります。
- "% Error:Code file transfer failed - Failure with receiving network data" - このエラーは、パケットの損失や順序の誤りなど、ファイル転送にエラーがあった場合に表示されます。ネットワークパスに沿ったパケットキャプチャを使用してトラブルシューティングを行い、パケットが失われたホップや順序が正しくないホップを見つけることができます。
- "% Error:Code file transfer failed - Server returns login failure" - ftp/scp username/passwordがサーバのユーザクレデンシャルと一致しない場合、このエラーが表示されます。設定されているユーザ名とパスワードが、サーバ側で設定されているものと一致するかどうかを確認できます。
- "% Error:Code file transfer failed - The URL does not exist, wrong path or filename" : このエラー メッセージが表示されるのは、サーバのデフォルト ディレクトリにソフトウェア アップグレード ファイルがない場合、あるいは、[コントローラアップグレード (Controller Upgrade)] ページの [ファイル名 (File Name)] フィールドに誤ったファイル名を入力した場合です。このエラーをなくすには、イメージ ファイルをサーバのデフォルト ディレクトリにコピーして、サーバと [コントローラアップグレード (Controller Upgrade)] ページの [ファイル名 (File Name)] フィールドで、名前とファイル拡張子が完全に同じであることを確認します。

関連情報

- [シスコワイヤレス コントローラ リリース 8.8 コンフィギュレーション ガイド](#)
- [ハイアベイラビリティ \(SSO \) 導入ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。